



社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

# 静臨技二ニュース

第274号

発行所／(社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207  
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113  
発行者／横地 常広 編集責任者／松岡 敏彦 発行日／平成25年 1月 1日 印刷所／小林クリエイト(株)



## 1月号の内容

- ◆ 年頭挨拶 …… 1～4
- ◆ 研修会終了報告 …… 5～6
- ◆ 『健康はままつ21』参加報告 …… 7～9
- ◆ 『伊豆市社会福祉大会』参加報告 …… 10
- ◆ 1月・2月の行事予定 …… 11
- ◆ 研修会・講習会案内 …… 12～14
- ◆ 会員の異動 etc. …… 15



## 年頭にあたって

社団法人静岡県臨床衛生検査技師会  
会長 横地 常広

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。  
今年も会員の皆様方にとって、実り多き年でありますように祈念申し上げます。  
静臨技としても、この平成25年は節目の年となります。以前より各支部会などで説明させていただきました「法人格移行」が承認され、4月1日より「一般社団法人」としてスタートする予定です。また、技師会創立60周年の年でもあり、6月22日には、創立60周年・法人格移行記念式典の開催準備を進めております。技師会活動においては、「会員にとって身近な技師会」を目指して、役員一同努めてまいりました。技師会における事業活動の根幹は、「精度保証を担保するための学術活動」「次世代技師の育成」「公益事業」「精度管理事業」だと考えています。地に足のついた持続性のある事業展開が一番大切です。また一方では、「職域の確保を目指した活動」といった医療行政に対する取り組みについても関心を持っていただきたいと思います。医療現場における検査データの重要性が高く評価されている状況で、法的に「検体検査業務」は、「患者給食」「病院清掃業務」「洗濯業務」などと並んで、外部委託可能な8業種のひとつとして位置付けられています。是非とも「職域確保」を目指して活動を進めなくてはなりません。日臨技、中部圏支部、県技師会が活動を通して連携し、取り組むべき問題がたくさんあると思います。私にできることは、会員の声にできるだけ耳を傾け、県技師会活動に取り組み、皆様の声を「日臨技」に届けることです。技師会活動に興味を持っていただき、運営にも積極的に参加してください。  
今年もよろしくお願ひ致します。

## 静臨技役員新年の挨拶



### 副会長（組織部長） 原田 勉（沼津市立病院）

平成 25 年が始まり、組織部では新人を対象としたスタートアップ研修会を 2 月 2～3 日に熱海温泉で開催します。

今回の研修会は理論的な考え方（ロジカルシンキング）に関する研修と、効果的なプレゼンテーションに関する研修を中心に 1 泊で行ないます。検査技師として、一社会人として一回り成長した考え方や説明の仕方を、楽しみながら身に付けていただけたと思います。

参加者の皆さんと有意義に過ごせる研修会となるよう理事一同お待ちしております。

本年もよろしく申し上げます。

### 副会長（学術部長） 三宅 和秀（JA 静岡厚生連 清水厚生病院）

今年は、社団法人静岡県臨床検査技師会 60 周年記念式典・新法人への移行ならびに検査のひみつ展と大きなイベントが控えております。静岡県医学会も半日開催から本年の 6 月に開催される第 4 回静岡県医学会より 1 日の日程で、ランチョンセミナーも企画されて開催される運びとなりました。会員・賛助会員の皆様と技師会活動ならびに学術活動を行っていきたいと思っておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 副会長（渉外広報部長） 松岡 敏彦（浜松医療センター）

昨年 4 月より副会長として渉外広報部を担当させていただき、会報である『静臨技ニュース』発行を主な業務としてまいりました。今年の静臨技は大きなイベントが目白押しとなっております。静臨技ニュースが会員の皆様の身近な情報誌となるよう更なる努力をしてみたいと思っています。会員の皆様のご意見・ご要望をお寄せいただきニュースに反映させていきたいと考えていますので、昨年以上に多くの情報提供をお願いいたします。

### 常務理事 松川 昭宏

ある研修会に参加した感想ですが、講演内容が充実し勉強になりました。臨床検査は検査技師の技量が重要であり日々の研鑽と経験また、技師会の力が不可欠です。より良い研修会を実施し技師の育成、技術の伝承を地道に技師会活動に努力したいと思います。

### 常務理事 藺田 明広（静岡県立総合病院）

常務理事を預かってようやく 1 年が過ぎようとしています。自身の技師会での使命は標準化事業推進、そう思って昨年も活動を展開してきました。検査値の標準化については静岡県精度管理調査（総括をやらせていただきながら・・・）を通し、また、施設の標準化として県内施設のレベルアップを図るため、意見交換会を通して情報交換をすることで少しでも効果が出ればと思っています。いずれにしても地道な活動ですが、意見交換会などは参加して下さる熱心な方に力をもらって長く続けていけたら最高です。

今年もよろしく申し上げます。

### 常務理事 山口 浩司（聖隷三方原病院）

昨年より、西部支部及び組織部担当理事として技師会活動に携わっています。2 年目の今年は、西部支部が中心となり担当する『第 4 回静岡県医学検査学会』が私にとって重点活動として捉えています。本学会は、6 月 22 日（土）に静岡市 あざれあ で開催し、テーマを「チーム医療と求められる臨床検査技師」として、シンポジウム、教育講演、ランチョンセミナーなどを行います。只今、学べて実践に活用できる内容を理事会の皆様と練り上げているところです。当日は、是非皆様のご参加をお待ちしています。

**理事 勝又 俊郎（順天堂大学医学部附属静岡病院）**

昨年の世相を表す漢字は「金」であった。ロンドン五輪のメダリスト、京大の山中伸弥教授のノーベル賞受賞、金環食と多くの感動を得た年になった。新年を迎え今年はどうかと考えると「変」と言う文字が浮かび上り、変化の年となるであろうと考える。静岡県臨床衛生検査技師会においては一般社団法人への法人格移行という大きな変化の年となる。日本の政治も衆議院選挙後で大きな変化があると考え。自分自身の身近な日々の業務においても、私生活においても多くの移り変わりがあり、常に一定ではない。このような変化に対し私自身も柔軟な気持ちで対応できるよう心掛けることをこの一年の目標とし、微力ながら静岡技理事として勤めさせていただきたい。

**理事 鈴木 雅人（富士市立中央病院）**

今年度より渉外広報部会計を担当しています。今回初めて理事として技師会に関わってなかなか戸惑うことが多いですが、9ヶ月が過ぎ少し慣れてきたような気がします。今年はいよいよ法人格移行があり、今までと変わることがありますので静岡技ニュースを熟読していただければと思います。新しい年を迎えまた新たな気持ちで会員の皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思ひます。

今年もよろしくお祈ひします。

**理事 海野 和浩（共立蒲原総合病院）**

会員のみなさま、あけましておめでとうござひます。

今年は巳年ですが、「巳」とはどんな意味かを調べたら、「胎児」を表す象形文字だそうです。胎児は出産日にむけて日々成長を続けて、新たな一步を踏み出します。私たちが今年を「新たな目標への準備期間」として自分のスキルを高めていき、午年に飛躍できるような1年としていきたいと思います。



**理事 高島 吉則（社会保険桜ヶ丘総合病院）**

今年も新たな気持ちで目標に向かって進みます。目標がいくつ実現（実行）できるのだろうか？日臨技理事として大きな目標のひとつである日臨技と静岡技、会員の皆様とのパイプ役をしっかりと行っています。未来のある臨床検査技師を目指して！

皆様のご協力を願うと共にご健勝とご発展を祈念いたします。

**理事 市川 千津子（静岡済生会総合病院）**

昨年4月から理事を務めさせていただいています。担当は組織部ですが分からないことばかりの中、理事の皆さんに助けていただきながら何とか過ごしてきました。多くの会員の皆さんに技師会の企画へ参加していただけるよう努めていこうと思ひます。

毎年目標を決めていますが今年は身の回りの整理整頓にしました。職場の机にはたくさんのメモとグループ分けされた書類が積まれています、見たいときに「どこ？」なんてこともあり、もう少しすっきりすることで自分の頭の中も整理されることを期待しています。皆さんも簡単なことから目標を立ててみてはいかがでしょうか？

今年もよろしくお祈ひします。

**理事 栗原 五美（静岡赤十字病院）**

会員の皆様はどのようにして年の初めを迎えられたでしょうか。中には大晦日もお正月もなく働いていた方もいらっしゃると思ひます。本当にお疲れ様です。

1月の和月名の睦月は、正月にあたって親戚や知り合いが寄り合つて睦み合い親交を深めることからついたそうですが、昨今はお正月といえども親戚が一同に会す家庭も少なく少人数用の高級お節料理がデパートやホテルで良く売れると聞きます。

日本は独自の暦（和暦）を用いてきました。1年を太陽の動き、1ヵ月を月の動きで構成する太陰太陽暦です。日本に中国から暦がもたらされたのは553年、欽明天皇の時代でした。暦が日本で計算されたのは604年、推古天皇の時代。それが一般に公布されたのは持統天皇の時代、692年のことでした。平安時代、862年に陰陽頭・大春日真野麻呂が宣明暦を策定、これが江戸時代まで使われました。1684年、天文方の安井（保井）晴海が宣明暦を修正、貞享暦を作りました。昨年映画にもなった話題の小説『天地明察』はこの安井晴海を主人公とするものでした。初詣にこの小説にも出てくる『三嶋暦』を買いに三嶋大社に行こうと思ひます。

いずれにしろ、私たち日本人にとってお正月とはリフレッシュして心機一転、今年はがんばるぞと言つた転機だと思ひます。私たちの静岡県臨床検査技師会も法人移行を前に心機一転です。

平成25年が皆様にとって実り多い一年でありますようにお祈ひいたします。

**理事 加藤 智行（浜松医科大学医学部附属病院）**

組織部の一員として活動させて頂きました。初めての技師会活動でもあり諸先輩役員の方々の指導のもと、気がつけば今年度も残すところ僅かとなってしまいました。まだ分らない事ばかりではありますが、今年も少しでもお役に立てるよう、気を引き締めていきたいと思っております。

今年も宜しくお願い致します。

**理事 清水 憲雄（磐田市立総合病院）**

昨年4月より学術部生涯教育点数登録を担当させていただいておりますが、旧年中は会員ならびに研究班役員のみなさんご協力のおかげで、無事会務を全うすることができました。深く御礼申し上げます。今年4月に新法人への移行をひかえ、研修会の開催をはじめとする会員のための事業の充実や、公益目的事業の充実も求められ、さらなる重責を感じております。今後も微力ながら技師会の発展に向けて邁進していきたいと思っておりますので、本年も変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

**理事 高橋 篤（静岡県予防医学協会西部検査所）**

私にとっての技師会活動は、人脈作りの場であり各医療機関との情報交換の場であります。とかく健診専門で行っていると、臨床での話題等疎遠になりがちですが、理事として技師会活動に参加していることで周りからの情報が入り自分にとってもプラスになっております。

今後も技師会をもっと盛り上げられるようにしていきたいと思っております。

**事務局長 伊藤 喜章（JA 静岡厚生連 遠州病院）**

今年2013年は、新法人移行元年、そして技師会60周年の記念の年です。6月の静岡での県学会においては、学会・総会に加え60周年記念式典を盛大に開催いたしますので、多くの方々に参加して頂けたらうれしいです。

今年度も技師会活動にご理解・御協力をお願いします。

**会計部長 豊田 次郎（榛原医師会臨床検査センター）**

静臨技は本年、いよいよ新法人（非営利一般社団法人）に移行いたします。昨年まで定款の変更など、多くの作業をしてきましたが、11月によりやく認可されることが決まり、一安心して新年を迎えることができました。今年静臨技設立60周年と新法人移行の記念行事もありますので、多くに皆さんの参加をお待ちしております。

**監事 渡辺 時治（三島社会保険病院）**

新年あけましておめでとうございます。24・25年度の監事をさせていただいております。何度か理事会に出席していますが、現執行部の方々の真面目さには頭が下がります。今年技師会にとって法人移行の年になりますが、きっと恙無く遂行してくれると思います。また、当院にとっては社会保険病院として最後の年になります。何か節目の年になるような気がしています。

本年もよろしくお願ひいたします。

**監事 榛葉 智之（公立森町病院）**

元日を迎えると「ホッ」とする気持ちと新しい年へのチャレンジ精神が湧いてきます。1年を通して気持ち（モチベーション）を維持するのは日々の経験と進化だと感じています。因みに日常生活において「マンネリ化してきたな～」なんて思うときが皆さんありませんか？例えば、仕事（行動）・行事（内容）・旅行（場所）・子育て（成長）etc... すべて経験することで維持できているものですね。良いように解釈すればマンネリ化は気持ちや生活において余裕があるともとれますし、もっと変化を望むという裏側の意味もあるかもしれません。創意工夫することで日々進化しているのだと思います。

人それぞれ考え方や方向性などの違いはあれど、豊かでありたい・幸せでいたいという気持ちは皆さん共通ではないでしょうか。

自分も含めて静岡県の技師会員が今年も（こそ）充実した環境になることを心より願ひ新年の挨拶とさせていただきます。



## 研修会終了報告

<b>研修会名</b>	<b>平成 24 年度 浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会</b>
開催日	平成 24 年 11 月 8 日 (木)
会場	浜松市 口腔保健医療センター 1F 講座室
参加人数	54 人
研修会内容	<p>特別講演『浜松医療センターにおける肺塞栓予防対策と肺塞栓予知に関する研究』では凝固系や AT、プロテイン C、プロテイン S 等の凝固制御系の解説からはじまり、オンライン肺塞栓リスク評価プログラムによるリスク評価の紹介、血栓性素因である Protein S-Tokushima が日本人で多いこと、血栓予防に用いられるエドキサバン (2011 年発売) の名前の由来について (キサバンは経口抗 Xa 薬を表し、エド=江戸は日本で開発されたため) 等を大変わかりやすく講演していただきました。先生の現在の研究テーマ「活性化プロテイン C 感受性測定系による静脈血栓塞栓症発症予知に関する研究」についても紹介していただきました。</p>  

<b>研修会名</b>	<b>平成 24 年度 第 2 回生理検査研究班研修会</b>
開催日	平成 24 年 11 月 10 日 (土)
会場	浜松医療センター 3 階講堂
参加人数	90 人
研修会内容	 <p>CT・MRI の基本をマスターし、その上で US の画像との比較を行う研修会でした。90 名と多くの参加者があり、関心の高さがわかる研修会でした。</p> <p>最新の技術 US の検査をしながら、CT・MRI の画像とリアルに比較できる検査機も紹介され、より使いやすくわかりやすい技術が紹介されました。</p>

<b>研修会名</b>	<b>静岡県標準化事業 第 6 回東部地区意見交換会</b>
開催日	平成 24 年 11 月 16 日 (金)
会場	三島市民文化会館 第一会議室
参加人数	27 人
研修会内容	<p>今回は、和光純薬の方に CRP の分析法についてお話ししていただき、知識を深めたうえで、更にディスカッションをいたしました。</p> <p>AMY・尿酸の事例については、測定系に及ぼすマトリックス効果についてもディスカッションをいたしました。</p> <p>また、各施設間の意見交換をすることもできました。</p> <p>今後もこのような意見交換会を開催し、活発な活動をしていけたらと考えておりますので、多数のご参加をお待ちしております。</p>

<b>研修会名</b>	<b>平成 24 年度 第 1 回微生物検査研究班研修会</b>
開催日	平成 24 年 11 月 17 日 (土)
会場	静岡県立総合病院 つつじホール (講堂)
参加人数	41 人
研修会内容	<p>今回の研修会は、講義形式だけでなく実際に手を動かし実際に目で見て体験する研修会を開催しました。</p> <p>真菌の講習では、実体顕微鏡を用い <i>Aspergillus</i> の頂囊の観察や、スライドカルチャーの実演などを行ないました。</p> <p>顕微鏡の基本操作の実習では、参加者全員熱心に心だしや絞りの調整を行ないました。市販のデジカメでの撮影のポイントなどの講義もあり実践で役に立つ内容の講演をしていただきました。</p> <p>実習時には多くの質問が活発に出ており、翌日から日常検査において役に立つ研修会になったことと思います。</p>
	

<b>研修会名</b>	<b>平成 24 年度 秋期研修会『ワークショップ』</b>
開催日	平成 24 年 11 月 18 日 (日)
会場	静岡赤十字病院 別館 4 階 第 1 会議室
参加人数	13 人
研修会内容	<p>日本臨床細胞学会静岡県支部主催『ワークショップ』を共同開催いたしました。主に細胞検査士認定試験受験者を対象とした研修会で、13 人の参加となりました。</p> <p>2 次試験を視野に入れ実際に顕微鏡、標本を用いて、スクリーニング、同定、実技の模擬試験、対策など行われました。</p> <p>このワークショップの参加者から、合格者が多数出ることを願っています。</p>

<b>研修会名</b>	<b>平成 24 年度 第 4 回 病理細胞研究班研修会(細胞)</b>
開催日	平成 24 年 11 月 22 日 (木)
会場	沼津市立病院
参加人数	16 人
研修会内容	<p>4 施設が婦人科、呼吸器、胸水、耳下腺の症例を提供しスライド、鏡検にて会員相互でディスカッションを行いました。</p> <p>非常に有意義な研修会になりました。</p>



# やらまいか元気な人づくり 健康はままつ21

体感フェアを終えて！

事務局長 伊藤 喜章 (JA 静岡厚生連 遠州病院)

寒さが一段と厳しくなった、平成 24 年 12 月 1 日 (土) に浜松市健康都市連合加盟記念イベントとして、『見る』より『体験』「やらまいか！健康はままつ 21」体感フェアがアクトシティのイベントホールにて開催された。我が静岡県臨床衛生検査技師会も、中部・西部理事及び西部技師会会員の協力を得て、総勢 20 人で協力参加をしてきました。(当日、東部では伊豆市社会福祉大会が開催されていたので東部支部にはそちらに参加・専念して頂きました。)

早朝、イベントホールの開門を待つ 40～50 名の関係者達が寒さで身体を丸め、足ぶみする中、8 時 15 分過ぎに鍵が開き、いよいよスタートです。技師会も担当である 4 階会場に集合し、白衣に着替え、会場設営、進行打ち合わせ、機器説明と段取りを進め、最後にピンクの技師会おそろいのビブスを着て、全員に気合が入りました。担当は 3 部門 (尿の塩分測定、SMBG (血糖測定)、血圧測定) で理事・会員が持ち場に分かれ入場者を待ちました。午前の部は、予約制にて、20 人の 4 クールで行いました、最初こそマゴツキでしたが、さすがに技師の集まりなのでしょう！2 クール目からは余裕が出来、市の保健師さんからも「早いですね、さすがです、私たちではもっと時間が掛かってしまいますよ」とも言われ、ほどなく午前の部を終えました。午後は同じ階で開催されるクリスマス村のトークショーへの参加者入場を終えてからのスタートになる為、少し長い昼休みになりましたが、聖隷三方原病院の山田技師長の激励訪問があったりと、楽しくのんびり出来、他のイベントや測定に参加された技師も多かったです。午後は、予約でない当日自由参加の方々なので、たくさん来るのかと思っていたのですが、期待とは裏腹のそこそこの人数で終わってしまいました。(午前 80 人、午後 30 人)。

午後の 3 時 30 分に終了を迎え、解散を前に、参加者で集合写真をとっていたら、当日参加していた浜松のゆるキャラの「家康君」とも思い出となる写真がとれました。



最後に、打ち上げでみんなと飲んだビールが非常に美味でいい気分でした！

(やっぱり気疲れしていたのかな？)

今回ご理解・ご協力して頂いた会員施設 (聖隷三方原・浜松医大・浜松医療センター・遠州病院・静岡県予防医学協会西部検査所)、理事 (県立総合・磐田市立・静岡済生会・静岡日赤・榛原医師会臨床検査センター) 様、並びに協和医科様にはこの場をかりて感謝いたします、大変ありがとうございました。

以下に、今回参加して頂いて方々の感想を載せさせていただきます。



**小林 祐子（JA 静岡厚生連 遠州病院）**

当日血糖測定を担当しました。決して難しい手順ではなかったのですが、なかなかこちらの思った通りにいかず、説明する難しさと相手によって説明の仕方を工夫する大切さを実感しました。測定値を見てお客さんがどういう反応をするかを実際見ることが出来たことは良い経験となりました。

**田口 さやか（浜松医療センター）**

血糖の測定を担当させていただきました。これまでに経験したことのない検査であり、普段採血業務を行っていないため、痛みを伴う検査の説明をすることは非常に緊張を伴いました。説明に慣れてきた後は、普段の生理検査業務の経験を生かし、丁寧に対応できたのではと思います。空き時間に他の会場を回ることもできて、全体を通じてとても興味深く楽しいイベントでした。



**釋 悦子（聖隷三方原病院）**

日ごろ健康に関心の高い市民のみなさまと病院以外の場所でお話できたのは良い経験だったと思います。ただ、前回の展示イベントホールでやったイベントの時より、お客様の数が少なくて、血糖測定の試薬もあまってしまったのが少し残念でした。私は主に血圧測定のところにはいたのですが、ちょっと古い型の血圧計だったのでセンサーがあたりにくい方がいらっしやって、思うように測定できなくて困った時がありました。マンシュートを巻くタイプの機械のほうが良かったのではないかと思います。とりあえず、無事に事故もなく終了できてよかったです。

あと、家康君が、家にあるぬいぐるみより本物の方がかわいくて、会えてとってもうれしかったです。



**山口 聡子（浜松医療センター）**

市民の方が自身で行う指先からの採血に、「すごくドキドキする」と躊躇していた姿を見て、採血を始めたころの心境を思い出し新鮮な気持ちになりました。やはり健康には多くの方が興味を持っているのだと感じました。

**清水 美千絵（聖隷三方原病院）**

一般の方への自己血糖測定の体験と血圧測定の案内を担当しました。皆さん興味深く聞いていただき、特に血糖測定は初めての方がほとんどでしたが、問題もなくスムーズに体験していただくことができました。もう少し参加人数が多いとよかったかなと思いますが、検査技師として普段と違った環境で貴重な経験をさせていただきました。



### 久米 克英 (JA 静岡厚生連 遠州病院)

今回、尿中塩分濃度の測定を担当させていただきました。全体的に1日の推奨塩分摂取量を超えている方が多い印象でした。恥ずかしながら自分もその1人でした。参加者から「食生活に気をつけたい」との声を頂け、やりがいのある活動に参加できて良かったと思います。

### 五十嵐 正人 (浜松医療センター)

今回、私は尿中の塩分濃度を測定しました。男性はほとんどが基準値より高値で、自分自身もかなり高値でした。日頃の不摂生を見直すきっかけになったのではないかと思います。

日頃、私は病理検査を担当していて、市民の方との触れ合う機会が少なく、非常にいい経験をさせて頂いたと思います。また、他病院の方と連携することができたのも非常にいい経験となりました。また、このような機会があれば積極的に参加していきたいと思いました。

### 濱谷 亮 (浜松医科大学医学部附属病院)

健康フェアで私は検尿(男性)の担当となり、お客様が採取した尿中の塩分測定を行い、概算で1日に摂取した塩分を算出した。お客様の人数は当初に予測されたよりかなり少なかったが、ほぼ全例が基準値を大きく上回る結果となり、男性スタッフの尿でも測定を行ったが同様に基準値を上回った。一方、女性の場合は基準値を上回るケースはさほど多くなかった。今回のフェアの参加によって(浜松在住?)男性の塩分過剰摂取が年齢に関係なく示唆されたため、食生活の見直しが必要であると改めて考えさせられ、非常に良い経験となった。

### 山下 香織 (静岡県予防医学協会西部検査所)

私は、推定塩分摂取量測定のスタッフとして参加させていただきました。尿中の塩分を測定することは初めてで、検査方法、結果共に非常に興味

深いものでした。また、私自身、今まで食生活で塩分をあまり気にしておらず、実際に測った際、数値の高さに驚き、反省しました。このようなイベントに参加することで、今後の食生活に目を向ける良いきっかけになると実感しました。このような機会を頂きありがとうございます。

### 大石 ルリ (静岡県予防医学協会西部検査所)

尿の塩分濃度測定に楽しく参加させていただきました。興味深い資料も見せていただき、おかげで自らも日々の食生活における塩分摂取をあらためて気づかせてくれるよい機会となりました。数値で表す力は、大きいですね。

昼食で全員が食べたお弁当の成果を2日後、全員の尿検査で見たいものです。参加機会をあたえて頂きありがとうございます。

### 永田 美智 (静岡県予防医学協会西部検査所)

当日は、尿からの推定塩分摂取量測定を担当させていただきました。普段の業務とは異なる角度からの健康へのアプローチはとても新鮮で、改めて食事・運動・健康について見直すよいきっかけとなりました。またこのイベントに参加されるお客様が予想よりも多く、市民のみならず日頃から健康に対し関心を持たれていることがよくわかり、医療従事者として身の引き締まる思いです。

イベントの最後に他施設の技師の方々や浜松“福”市長の家康さんと撮影した集合写真は、私にとりましてプチ自慢のひとつとなりました。参加の機会を与えていただきましたことを、感謝申し上げます。



### 理事 藪田 明広 (県立総合病院)

初めて健康まつりに参加させていただきました。予約制ということで、説明等に時間をさくことができ、皆さん十分な説明が出来ていたと思います。今度やる機会があれば、多くの若手、中堅技師にまた参加していただければと思います。

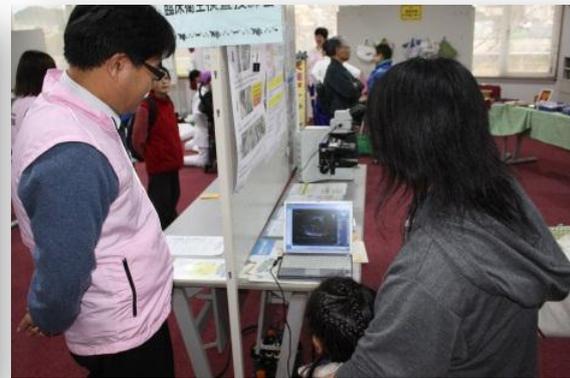
## 『伊豆市社会福祉大会』に参加して

常務理事 松川 昭宏

12月1日（土）伊豆市にある「修善寺生きいきプラザ」で行われた『伊豆市社会福祉大会』に県技師会も参加しました。

3年前から運営方法が変わり、健康祭りから福祉大会になり展示ブースも減少しましたが、多くの参加者で会場は熱気で一杯でした。今回は顕微鏡とパソコンで血液像と心エコー動画実演が好評でした。ブースは病理写真を中心に展示し一番参加者の質問が多く、特に病気（癌）に対する興味は多く、次回も臨床検査の実際を見せられる工夫で参加します。

また、会場の片付けでも実力を発揮し会場責任者にも評判良く終了しました。



動画による心エコーの説明

## 平成25年1月・2月の行事予定

### 1月

- 8日(火) 静岡県臨床衛生検査技師会 理事会 : 技師会事務所  
12日(土) 平成24年度 第5回 病理検査研究班研修会 : 静岡赤十字病院  
12日(土) 第2回 病理・細胞診に関する講演会 : 浜松アクトシティー  
19日(土) 平成24年度 第3回 輸血検査研究班研修会 : あざれあ  
19日(土) 平成24年度 第6回 病理細胞検査研究班研修会 : 静岡市立静岡病院  
26日(土) ~ 27日(日)  
平成24年度 日臨技中部圏支部 微生物検査研修会 : 静岡市立静岡病院

### 2月

- 2日(土) ~ 3日(日)  
静岡県臨床衛生検査技師会 スタートアップ研修会 : 熱海  
10日(日) ~ 11日(月)  
平成24年度 日臨技中部圏支部 生理検査研修会 : あいち健康の森  
16日(土) 中部圏支部幹事会 : 愛臨技事務所  
16日(土) ~ 17日(日)  
平成24年度 日臨技中部圏支部 臨床化学・  
免疫血清検査研究班研修会 : 岐阜大学医学部附属病院  
23日(土) 静岡県臨床衛生検査技師会 理事会 : あざれあ  
平成25年度予算総会 : あざれあ  
23日(土) ~ 24日(日)  
平成24年度 日臨技中部圏支部 血液検査研修会 : ウイング・ウイング高岡

### 静岡県技師会

会員数 2012/12/20 現在

1,493名

日臨技総合情報システムより

### 会員投稿募集

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。

ジャンル等は問いません

ご意見・情報等お待ちしております。

渉外広報部(編集責任者)松岡敏彦まで

t.matsuoka@hmedc.or.jp



# 臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 24 年 12 月 20 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。

平成 25 年 (1) (敬称略)

日時・会場	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
平成 25 年 1 月 12 日 (土) 15:00~17:00  静岡赤十字病院 本館 4 階 カンファレンスルーム  会員 300 円 賛助会員 300 円 非会員 1,000 円	平成 24 年度 第 5 回 病理細胞検査研究班研修会  今回の細胞診症例検討領域は、全領域です。 診断に苦慮した症例、問題例や典型例など、 プレパラートまたはスライドのどちらでも構いませんの で、お持ちよりください。  <b>■症例検討を行います。</b> 細胞検査士資格の有無に関係なく、 多数ご参加ください。	No. (120025909) 検体—専門—20 点 静岡県立静岡がん センター 本田 勝丈 (055-989-5222)
1 月 12 日 (土) 15:00~17:00  浜松アクトシティー 研修交流センター 52 研修交流室	第 2 回 病理・細胞診に関する講演会 13:30~15:00 1. 『EUS-FNA による消化器細胞診』 講師 愛知県がんセンター 所 嘉郎 先生 2. 『リンパ球の見方』 講師 豊川市民病院 佐藤 初代 先生  15:15~16:45 3. 『LBC 液状処理婦人科細胞診』 講師 東海細胞研究所 坂本 寛文 先生 4. 『子宮癌検診結果の説明を实践して』 講師 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 今枝 義博 先生  <u>FAX でのお申し込みをお願い致します。</u> 送付先: FAX:053-435-2224 浜松医科大学再生・感染病理学講座	No. (120029026) 検体—専門—20 点 静岡県立静岡がん センター 本田 勝丈 (055-989-5222)
1 月 19 日 (土) 14:00~17:00  あざれあ 第 1 研修室  会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円	平成 24 年度 第 3 回 輸血検査研究班研修会  「不規則抗体スクリーニングについて」 基礎的内容を中心に 「輸血前後の感染症検査について」 輸血前後の感染症検査の解説に、検査法の特徴や注意点 なども交えて講演して頂きます。  講師 オーツ・クリニカル・ダイアグノステックス株式会社 岩本 泉 先生 秋山 匡輝 先生  新たに輸血検査に配属された方はもちろん、 経験者にも役立つはずです。	No. (120026461) 検体—専門—20 点 市立島田市民病院 亀山 拓哉 (0547-35-2111)

## 臨床検査関連研修会・講習会 (2)

<p>1月19日(土) 14:00~17:30</p> <p>静岡市立静岡病院 西館12階 講堂</p> <p>会員 500円 賛助会員 500円 非会員 1,000円</p>	<p>平成24年度 第6回 病理細胞検査研究班研修会</p> <p>1. メーカープレゼンテーション メーカー4社よりバーチャルスライド機器の プレゼンテーションをして頂きます。 14:30~15:00 オリンパス(株) 天川 玄太 先生 15:00~15:30 サクラファイテックジャパン(株) 近藤 恵美 先生 15:40~16:10 浜松ホトニクス(株) 小倉 隆 先生 16:10~16:40 ライカマイクロシステムズ(株) 五郎部 博史 先生</p> <p>2. 機器の展示 各社のデモ機を実際に体験して頂きます。 16:40~17:30 バーチャルスライドデモンストレーション</p>	<p>No. (120026461) 検体—専門—20点 静岡県立静岡がん センター 本田 勝丈 (055-989-5222)</p>
<p>1月26日(土) 13:00~20:00 1月27日(日) 9:00~15:00</p> <p>静岡市立静岡病院 西館12階 講堂</p> <p>会員 5,000円 賛助会員 5,000円 非会員 10,000円</p>	<p>平成24年度 中部圏支部 微生物検査研修会 テーマ 「感染症対策に関する最近の話題と 時間外の微生物検査」</p> <p>1日目 DVD研修 2講義分 【特別講演】検査しなければならぬ薬剤耐性菌について (仮題) 東邦大学 石井 良和 先生 【実技講習】グラム染色 静岡市立清水病院 土屋 憲 技師 抗酸菌染色 静岡県立総合病院 大石 和伸 技師</p> <p>2日目 DVD研修 2講義分 【特別講演】バイオハザード対策(仮題) 株式会社マルモ 杉山 寛治 先生 【実技講習】インフルエンザ検査 焼津市立総合病院 石原美弥子 技師</p>	<p>No. (120025897) 検体—専門—30点 静岡県立総合病院 大石 和伸 (054-247-6111) (内線 2250)</p>
<p>2月2日(土) 15:00~ 2月3日(日) ~12:00</p> <p>熱海 ホテル・サミ倶楽部</p> <p>会員 10,000円</p>	<p>平成24年度 スタートアップ研修会</p> <p>【ねらい】</p> <p>1.ネゴシエーション(交渉)・プレゼンテーション(提案) のスキルを身につけよう! ~伝えたいことがあるとき、今までよりわかりやすく 話したり、説明ができるようになる~</p> <p>2.コミュニケーションを図ろう! ~一泊の研修を通して、様々な施設との技師間交流を 図る~</p> <p>参加者: 新人から5年目位までの方</p>	<p>No. (120028261) 教育—基礎—30点 沼津市立病院 原田 勉 (055-924-5100)</p>

## 臨床検査関連研修会・講習会 (3)

<p>2月10日(土) 13:45~18:00 2月11日(日) 9:00~12:00</p> <p>あいち健康の森</p> <p>会員 10,000円</p>	<p>平成24年度 中部圏支部 生理検査研修会</p> <p>【テーマ】リテラシーを身につける</p> <p><b>詳細は静臨技ホームページをご覧ください。</b></p> <p style="text-align: right;">募集人員; 180名</p> <p>【1日目】全体講演 【2日目】選択研修 (3会場にて同時開催・当日選択)</p>	<p>小牧市民病院 臨床検査科 田中夏奈 (0568-76-4131) (内線 2229)</p>
<p>2月16日(土) 13:00~17:20 2月17日(日) 9:00~12:00</p> <p>岐阜大学医学部附属病院 多目的ホール</p> <p>会員 6,000円 1日のみ 4,000円</p>	<p>平成24年度 中部圏支部 臨床化学・免疫血清検査研究班研修会</p> <p>【テーマ】最近話題の検査と震災</p> <p><b>詳細は静臨技ホームページをご覧ください。</b></p> <p style="text-align: right;">募集人員; 100名</p> <p>【1日目】講演 3演題 【2日目】講演 2演題</p>	<p>東海中央病院 渡邊 景介 (058-382-3101) (内線 3201) kakekko@hotmail.com</p>
<p>2月23日(土) 13:00~17:20 2月24日(日) 9:10~12:30</p> <p>富山県高岡市 ウイング・ウイング高岡</p> <p>会員 10,000円 1日のみ 6,000円</p>	<p>平成24年度 中部圏支部 血液検査研修会</p> <p>【テーマ】基礎をテーマとし、多くの皆様の参加をお待ちしております。</p> <p><b>詳細は静臨技ホームページをご覧ください。</b></p> <p style="text-align: right;">募集人員; 100名</p> <p>【1日目】講演 3演題 【2日目】講演 2演題</p>	<p>厚生連高岡病院 臨床検査部 柴田 正信 (0776-21-3930)</p>
<p>2月23日(土) 15:00~17:00</p> <p>あざれあ</p>	<p>社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会</p> <p style="text-align: center;"><b>平成25年度 予算総会</b></p> <p style="text-align: center;"><b>*会員カードを必ず持参して下さい。</b></p>	<p>No. (120028250) 組織—基礎—30点 静岡県立総合病院 藪田 明広 (054-247-6111)</p>
<p>3月24日(日) 10:00~17:00</p> <p>あざれあ 2F 大会議室</p> <p>会員 6,000円 非会員 10,000円</p> <p><b>事前申し込み制</b></p>	<p>第13回 静岡血液フォーラム テーマ 「症例から考える血液疾患」 第1講演 『症例から考える、凝固・線溶検査と病態』 帝京大学医学部附属病院 中央検査部 技師長 島津 千里 先生</p> <p>第2講演 『血液像・骨髄像の形態学からせまる血液疾患』 福岡大学医学部腫瘍血液感染症内科学 阿南 建一 先生</p> <p>今年のフォーラムは、実際のルーチン業務で役立つ、凝固検査と形態の研修会を企画しました。</p>	<p>No. (120026663) 検体—専門—20点 三島社会保険病院 大橋 勝春 (055-975-5545)</p> <p><b>申し込み問い合わせ</b> 聖隷浜松病院 栗田 哲至 (053-474-2632)</p>